

No.145

2018

4

 学院だより

<東京家政学院大学>



奨学金授与式後 出席者全員で記念撮影

<筑波学院大学>



ACM国際大学対抗プログラミングコンテストのホスト校を担当して
～大会を終えて・本学実行委員スタッフ、学生スタッフメンバーで記念撮影～

<東京家政学院高等学校・中学校>



晴れ着姿で集合写真

目次

- 東京家政学院大学 1～5 P
- 筑波学院大学 6～10 P
- 東京家政学院高等学校・中学校 .. 11～12 P
- 学校法人東京家政学院 13～14 P
- 社会のなかで、研究室紹介 15 P

発行 学校法人東京家政学院
〒102-8341 東京千代田区三番町22番地
Tel. 03-3262-2251(代表) Fax. 03-3262-2174
URL <http://www.kasei-gakuin.ac.jp/houjin/>

東京家政学院大学

TOKYO KASEIGAKUIN UNIVERSITY



町田キャンパス

〒194-0292 東京都町田市相原町2600番地

TEL.042-782-9811(代表)

千代田三番町キャンパス

〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地

TEL.03-3262-2257(代表)

URL <http://www.kasei-gakuin.ac.jp/>



学長

廣江 彰

読書が「頭脳」の糧となる確かなお話し
— 棋士藤井聡太六段の創り方

実は、中学生棋士藤井聡太15歳について書こうとしたのはこの2月の頭、本学が発行しているメー

ルマガジン2月号に向けてのことでした。しかし、最終締切日、これ以上待てないという2月1日17時になっても「第11回朝日杯将棋オープン戦」の決着がつかず、別原稿を掲載することになりました。

「オープン戦」で梶浦宏孝四段との対局に決着がついたのは1日の深夜。この勝利で五段に昇格と思ったら、2月17日には準決勝で羽生善治竜王を破り、決勝で広瀬章人八段にも勝利、あれよあれよの間に藤井六段が誕生しました。このニュース、ピョンチャン五輪、男子フィギュアスケート・シングルでの金、銀同時獲得に隠れた感もありますが、中学生の優勝は初めて、六段昇格も加藤一二三氏の記録を破る最年少での快挙となります。

私が藤井六段について書きたいと思った理由、「天才」棋士ぶりに関心を持ったからではなく、彼の小学4年生での作文を知ったからでした。その作文、将来の夢が「名人をこす」とあるのは当然として、驚くのは「最近読んで面白かった本ベスト3」に、百田尚樹、沢木耕太郎、椎名誠の作品を挙げていることでした。百田尚樹『海賊とよばれた男』は2012年刊行、翌年11月の本屋大賞受賞ですから、受賞前に読んでいたことにはなりません。後者の『深夜特急』、『アド・バード』も、小学4年生に「面白〜」か?とつねえ。

藤井六段の会見で気付くのは語彙の豊富さ。合間に「まア」が入って羽生竜王に似ているのは「ご愛嬌」としても、思考が言葉でしっかり組み立てられていることが分かります。そう考えると、因果関係があるとはいいませんが、藤井六段誕生と読書・言葉に相関関係があるのは確か。

私たち非「天才」が藤井六段から学ぶのは、「地

道にコツコツ」読書に励むこと。文字離れが続く現在、新入生のみなさんには読書に勤しんで欲しい、本学附属図書館や生活文化博物館で「楽しんで」欲しい、そう願うのです。

平成30年度 新入生を迎えて



学友会会長 飛田 悠里

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから大学生活という新しいステージが始まります。在学中はきっと様々な人と出会い、様々な経験ができることでしょう。

そして、その全てが自分を成長させてくれるチャンスです。たくさんの方に挑戦する気持ちを大切にしてください。

また、新しい生活に不安や悩みを抱えることもあるでしょう。その時はぜひ、先生方や先輩方に頼ってください。きっと力になってくれるはずです。素敵な大学生活となることを祈っています。

平成30年度 学友会役員決定

町田キャンパス

会長	飛田 悠里	3PB
役員	小林 莉和	3DA
役員	菅井 遙	モリエダ 3PB
役員	栗林 南月	2DB

役員	遠藤 優菜	2PA
千代田三番町キャンパス		
副会長	井ノ上 美月	3GB
役員	飯田 優理	3GA
役員	飯島 京香	3GC
役員	佐藤 紅実	3HA
役員	岡本 真帆	3HB
役員	齋藤 結衣	3HC

平成29年度 奨学金授与式

平成29年11月11日(土)午後1時から、町田キャンパスで学校法人東京家政学院奨学金と光塩会奨学金の授与式が執り行われました。

この学校法人東京家政学院奨学金と光塩会奨学金は、勉学に努力した2年生以上の成績優秀者に支給されるもので、各学科からの推薦を受け毎年授会会で授与者が決められます。

授与式には廣江学長ほか大学役職者、光塩会からは会長・副会長が参列しました。廣江学長から学校法人東京家政学院奨学金の授与が行われ、次に永山光塩会会長から光塩会奨学金の授与が行われました。引き続き、学長と光塩会会長から、祝福と激励のお言葉があり、なごやかな中で授与式は終了しました。

錯視・錯聴コンテスト入賞

このたび、私、加地雄一(臨床心理学研究室)が、錯視・錯聴コンテスト(第9回)で3位入賞しました。受賞作品「クロスワード盲」は、クロスワード様の

図形が周辺視野で欠けて見えるというものです。周辺視野の上下左右どこでも生じるため、網膜上の盲点のせいではなさそうです。なぜこのような現象が生じるのか、授賞式で活発なディスカッションが行われましたが、まだわかっていません。発見者の私が本学で研究したいと思います。

授賞式は日本基礎心理学会第36回大会の懇親会(2017年12月2日)で開催されました。審査委員長の北岡明佳先生(立命館大学教授)から賞状を拝受しました。北岡先生は錯視研究、錯視アートで世界的に著名な先生で、音楽家レディー・ガガのアルバム『アート



授賞式での北岡先生(右)と加地(左)

ポップ』の盤面のデザインも手がけています。私は北岡先生のファンとして普段からウェブページや書籍を拝読しているのので、直接お会いできて非常に嬉しかったです。

受賞作品はコンテストのウェブページで公開されています。他の作品も大変面白いものばかりですのでぜひご覧ください。また、受賞作品は『Visione』というアーカイブに英文で登録されました。このアーカイブは、理化学研究所(ニューロインフォマティクス国際統合機構NICS)日本ノード)が運営している視覚コンテンツの国立電子図書館です。

今回このような評価を受けて大変光栄に思います。これを励みに今後も本学での職務に従事したいと思えます。

KVA祭開催

平成29年11月11日(土)・12日(日)に開催され、学内を中心に50団体約8000人の参加者がKVA祭を盛り上げました。特に人気だったのは留学生による本場の焼餃子で、絶え間なく購入者が来店していました。

ゲスト出演は、11日に子ども達に人気のアンパンマンショー、12日は、多くのファンが来場した山崎育三郎さんのトークショーのほか、アーティストのライブなどもあり、幅広い世代が楽しめる2日間となりました。



12日(日)に開催のお笑い芸人司会によるピンゴ大会の一コマ

イーアス高尾のファッションショー 『幸せを運ぶパンフキンパーティー』の企画・運営

被服構成学研究室(衣分野)では、オペラやバレエ公演の衣装デザインと制作を行い、近隣の商業施設でファッションショーを開催しています。

今年のイーアス高尾では、ハロウィンのオリジナルストーリーを作成し、アテレコにより演劇的な要素を取り入れたユニークな演出、魔女をイメージした舞台衣装が登場しました。また、お楽しみプレゼントで集客し、観客を惹きつける演出も加え、皆様に楽しいひと時を提供しました。

このような地域連携活動は、商業施設と大学にとって、ともに有益であることが重要です。さらに、



イーアス高尾ショー

学生たちは、自らが積極的に楽しむことも大切にしていきます。

教育効果のねらいは、①企業の担当者との確かなプレゼンができる、②制作・準備・練習の日程計画や健康管理ができる、③トラブルの解決と対処ができる、④本学の学生としての自覚と社会的なマナーをもつ、⑤学年を越えた繋がりを深めることなどです。
 (2017年10月28日イーアス高尾そよかぜ広場にて開催)

**企業連携
発表会に併設高校の生徒も参加！**

現代家政学科の授業「ファッションカラー演習」では、スターバックスコーヒージャパンと産学連携を行っています。今回の対象店舗は、今、京都で注目のスポット『京都二寧坂ヤサカ茶屋店』です。学生たちは本社を訪れ企業理念を学び、店舗の事前調査を行い、スターバックスと古都京都のイメージを融合させた、ユニークな小物の数々を創作しました。

授業時に行われた発表会には、併設高校の生徒も参加し、大学生による作品のプレゼンテーションや、スタバのデザイナーの方々からの親身な講評に熱心に耳を傾けていました。授業後、「興味深い内容で、大学での学びを一足先に体験することができました。」との感想をいただきました。
 今後の高大連携にも繋がる貴重な機会になりました。



発表会風景(左手前は参加の併設高校の生徒)

「特別公開講座」開催報告

平成29年度の特別公開講座は、町田キャンパスにて、10月26日(木)、本学の卒業生で英国園芸研究家、デザイナーのケイ山田氏をお迎えして「新しいことへの挑戦 ～私とガーデニング～」をご講演いただきました。

また、千代田三番町キャンパスでは、11月30日(木)、法政大学大学院教授の樋口一清氏をお迎え



ケイ山田先生による講演風景



樋口一清先生による講演風景

別表 平成29年度 公開講座実施状況

開催校	講座名	開催日	担当教員
千代田三番町キャンパス	食品と加工(全2回) 一味噌造り・コンニャク	6月3日	林一也 教授
		9月2日	綿貫仁美 助教
	健康食品の上手な活用(全1回) 一表示を正しく理解しよう	10月21日	田中弘之 教授 海野知紀 教授
町田キャンパス	特別支援学校における 金銭教育を考える(全1回)	11月23日	小野由美子 准教授
		10月14日 21日 28日	高尾純宏 准教授

「公開講座」開催報告

「消費者のチカラで未来を拓く」をご講演いただきました。
 当日は、学生・教職員をはじめ、一般の方もご参加いただき、好評のうち無事終了いたしました。
 平成29年度の東京家政学院大学公開講座は、別表のとおり開催し、好評のうち無事終了いたしました。
 平成30年度の予定は、決まり次第、順次ホームページ等でお知らせいたします。
 皆様のご参加をお待ちしております。

「東京家政学院大学地域交流会2017」

11月30日(木)、町田キャンパスのローズコートにて本学主催・西武信用金庫共催・相模原市後援「東京家政学院大学地域交流会2017」を開催しました。

当日は、西武信用金庫法人推進部 吉野弘毅様、本学廣江彰学長より開会のご挨拶をいただきました。次に、弁理士尾関眞里子先生による「知的財産権の基礎知識」の特許について」の講演が行われました。続いて行いま



弁理士尾関眞里子先生による講演風景

した連携事例発表においては、本学で取り組んでいる中から「子育てのお母さんとその子どもを対象とした保育付き料理教室プロジェクト」、「ピーナッツ薄皮濃縮液、ピーナッツ及びピーナッツ加工品を用いたレシピ開発」、「イーアス高尾でのファッショショ」の3件について、学生が発表し、連携パートナーのJA横浜と株式会社川越屋の方々からコメントをいただきました。

また、連携事例パネル展示交流会のブースでは、今年度、連携している10件の事例パネルの展示や、学生が、地域連携を通じて開発した試作品の試食を行いました。学生や教員が、参加された14の自治体・企業・団体の方々に展示の内容や試作品についての説明を行う等、活発な意見・情報交換が行われ、充実した地域交流会となりました。

国際交流センター

「Cast From the Storm」上映会

— 難民について考える —

難民映画の上映会を10月と11月に両キャンパスで開催しました。

上映作品「Cast from the Storm」の舞台は、オーストリアの高校にある難民のための英語クラス。ここでは、生徒達の体験を劇にすることで、つらい思いを共有し、前に向かう力とするという取り組みが行われており、映画は一人一人がそれぞれの物語を語る

ところから、劇を上演するところまでを追っていきま

す。「死を覚悟して家族で難民ボートに乗った」「通っていた学校に爆弾が落ちて同級生の多くが亡くなった」「紛争地に一人残して来た母を案じている」…一見、明るく元気な普通の高校生の口から語られる体験と、本気で向き合うスタッフの姿に109名が見入りました。

上映後には、「初めて知ったことばかりでショックだった」「『話す』ことのパワーと生徒



千代田三番町キャンパス上映会の様子

達の力強さに感動した」「世界の平和と難民の人権尊重を願う」「自分にできることを何かしたい」等の感想が寄せられ、難民が自分達と変わらない「普通の人」であるという認識を共有できた貴重な機会となりました。

町田キャンパス 大規模修繕工事第一期

町田キャンパスは、開校以来32年が経過し現在に至っております。その間、一部の棟を除き外壁の改修工事を実施しましたが、その後、一定の年数が経過し外壁等の劣化が進行している状況でした。この事態を改善するため、今年度からキャンパス内各棟を対象とする大型改修工事計画に基づき、主に外壁等の改修工事を第一期として向こう3年の期間で五棟の改修工事を完了させる計画内容であります。

第一期の初年度は、管理棟・メインエントランス・3号棟・都道に面する校名道路看板の改修を予定し、既に管理棟・メインエントランスは、次のように竣工当時を彷彿とさせる外観に綺麗に仕上がりました。



都道校名看板



メインエントランス・管理棟の全景

◆2019年度 東京家政学院大学 入試日程等

入試種別	日程	出願期間※1	試験日	合格発表日	入学手続締切日
A O 入試 (オープンキャンパス 参加型)	—	9月 1日(土)～ 9月 10日(月)	別に定められた 出願前の面談日	9月 18日(火)	9月 27日(木)
A O 入試 (課題型・ 活動報告型)	I期	9月 1日(土)～ 9月 10日(月)		9月 18日(火)	9月 27日(木)
	II期	10月 5日(金)～ 10月 15日(月)		10月 22日(月)	10月 30日(火)
	III期	10月 23日(火)～ 10月 30日(火)		11月 8日(木)	11月 16日(金)
	IV期	12月 11日(火)～ 12月 14日(金)		12月 18日(火)	12月 25日(火)
推薦入試	I期	10月 19日(金)～ 10月 26日(金) 窓口受付：10月 29日(月)※2	11月 3日(土)	11月 8日(木)	11月 16日(金)
	II期	11月 15日(木)～ 11月 22日(木) 窓口受付：11月 26日(月)※2	12月 1日(土)	12月 6日(木)	12月 14日(金)
スカラシップ入試	—	11月 30日(金)～ 12月 7日(金) 窓口受付：12月 10日(月)※3	12月 15日(土)	12月 18日(火)	12月 25日(火)
一般入試	A方式 I期	1月 7日(月)～ 1月 16日(水) 窓口受付：1月 17日(木)※3	1月 26日(土) 1月 27日(日)	1月 31日(木)	2月 8日(金)
	A方式 II期	1月 7日(月)～ 1月 23日(水) 窓口受付：1月 24日(木)※3	2月 6日(水)	2月 12日(火)	2月 20日(水)
	B方式	1月 7日(月)～ 2月 27日(水) 窓口受付：2月 28日(木)※3	3月 7日(木)	3月 8日(金)	3月 18日(月)
センター試験 利用入試	I期	1月 21日(月)～ 1月 31日(木) 窓口受付：2月 1日(金)※3	大学入試 センター試験 1月 19日(土) 1月 20日(日)	2月 12日(火)	2月 20日(水)
	II期	1月 21日(月)～ 2月 14日(木) 窓口受付：2月 15日(金)※3		2月 25日(月)	3月 4日(月)
	III期	1月 21日(月)～ 3月 11日(月) 窓口受付：3月 12日(火)※3		3月 18日(月)	3月 26日(火)
特別選抜試験 (社会人・ 海外帰国子女)	I期	8月 27日(月)～ 9月 4日(火)	9月 13日(木)	9月 18日(火)	9月 27日(木)
	II期	1月 30日(水)～ 2月 6日(水)	2月 15日(金)	2月 19日(火)	2月 27日(水)
私費外国人 留学生試験	I期	7月 20日(金)～ 7月 27日(金) 窓口受付：上記期間中※4	9月 13日(木)	9月 18日(火)	9月 27日(木)
	II期	1月 7日(月)～ 1月 15日(火) 窓口受付：上記期間中※4	2月 15日(金)	2月 19日(火)	2月 27日(水)
編入学試験 学士入学試験	I期	8月 27日(月)～ 9月 4日(火)	9月 13日(木)	9月 18日(火)	9月 27日(木)
	II期	1月 30日(水)～ 2月 6日(水)	2月 15日(金)	2月 19日(火)	2月 27日(水)

- ※1 出願期間は、郵送での受付期間(最終日の消印有効)を表します。
 ※2 推薦入試の窓口受付は、町田キャンパス入試広報グループ窓口に限ります。
 ※3 スカラシップ入試、一般入試、センター試験利用入試の窓口受付は、千代田三番町、町田の両キャンパスで行います。
 ※4 私費外国人留学生試験の窓口受付は、出願期間中(土・日曜、祝日を除く)の町田キャンパス入試広報グループ窓口に限ります。
 ★ 日程は変更になる場合があります。詳細は大学案内、学生募集要項をご参照ください。

<お問い合わせ先>

東京家政学院大学・大学院

〒194-0292

東京都町田市相原町2600番地

町田キャンパス 入試広報グループ

TEL.042-782-9411

URL <http://www.kasei-gakuin.ac.jp/>

E-mail: nyushi@kasei-gakuin.ac.jp

〒305-0031 茨城県つくば市吾妻3-1
TEL.029-858-4811(代表)
FAX.029-858-7388

URL <http://www.tsukuba-g.ac.jp>



新入生を迎えて



学長 大島 慎子

ご入学おめでとうございます。

皆さんは、本日から学生と呼ばれます。生徒と学生の違いは、広辞苑によれば、生徒は「教育

を受ける者」とされ、学生は「学業を修める者」とされています。つまり、学生は、より積極的に学修に取り組むという意味がありますから、皆さんは、漫然と授業を受けるのではなく、目的意識をもって大学生活を過ごしていただきたいということです。

目的意識とは、何について学びたいか、将来どのような職業につきたいか、どんな人になりたいか、など自分の将来像、自分が生きる社会をイメージして、勉強に取り組むことです。

現在、4年制大学への進学率は50%強であり、皆さんは大学で学べる機会を得たことをご両親に感謝し、大学で学ぶ意義、つまり社会で通用する高度な知識、技術と社会常識を身につけて未来の社会へ責任をもつことを考えていただきたいと思います。

社会常識とは社会生活を営む上で巡り合う様々な事柄に対して理解し、正しく判断して行動するために必要な基礎的な知識と能力のことです。

筑波学院大学は、学校法人東京家政学院の建学の理念であるKVA精神、すなわち、知識の啓発、徳性の涵養、技術の練磨を継承し、外国語能力とICT活用能力を基礎として国際教養と経営感覚を習得して社会に貢献する人材を育成しています。流動的な社会で学生が自立するためには、多様な価値観や異文化を理解する柔軟性、およびロジカルな思考を的確に表現して実行する行動力が必要です。

本学では、「つくば市をキャンパスに」して地域の自治体、企業で活動する必修授業があり、この取り組みは12年を経て、学生が社会で実践力を磨き、社会参加意識をもち、また地域の課題解決

を目指す成果をあげています。

皆さんが充実した4年間を送るように、研究者と実務家教員がバランスよく配属された教職員が、きめ細かい指導を行い、学生一人一人の成長を支援しますので、夢に向かって進んでください。

平成30年度 新入生を迎えて



学友会会長 寺門 達輝

平成30年度、筑波学院大学学友会会長に就任しました寺門達輝です。私は入学時より学友会活動に携わってきました。この2年間を振り返ると、多くのイベントの企画運営を通して皆さんのより充実した学生生活に貢献できたのではないかと実感しています。また、KVA祭では地域貢献の一環として毎年子供たちが楽しみに待っている「お化け屋敷」を企画し、昨年度も多くの子供たちを迎え、楽しんでもらうことができました。

学友会は「会員相互の親睦と品位の向上を図ると共に、自主精神とKVA精神を基として人間形成に努め、あわせて筑波学院大学の発展向上に寄与すること」を目的とした組織です。この目的を達成する為の努力を惜しまず取り組んでまいりたいと思います。また、学生生活を振り返ったときに思い出してもらえるような学生同士の親睦を深める交流企画の運営や、ボランティア活動などにも尽力していく所存です。

平成30年度 学友会役員決定

学友会

会長 寺門 達輝
 副会長 飯塚 ゆりあ、森 亜美
 会計 石寫 紅葉、大江 寧音、
 志賀 紅葉、森田 雅大
 書記 古矢 淳博、
 アバロス ミゲル ディエゴ プラモリ
 広報 小野 博樹、麻生 和輝、
 軽部 杜威、鈴木 優介、
 対馬 紗彩、内田 克尚
 渉外 大和田 圭吾、中尾 海渡、
 宗田 天、日渡 光祐、
 赤羽 柊哉、杉山 隼輝、
 鈴木 豊貴、平岡 大幸、
 久野 明日輝

会計監査

クラブ連合会会長 田村 拓也
 副会長 杉山 隼輝

第28回KVVA祭実行委員会

委員長 張替 紀樹
 副委員長 服部 将吾

平成29年度 奨学金授与式

7月24日(月)光塩会の会長、副会長にお越し頂き、本学学長室に於いて、平成29年度の奨学金授与式が行われました。授与された奨学金は次のとおりです。



平成29年度奨学金授与式

前列右から
 大島学長、
 永山光塩会長、
 原澤光塩会副会長
 後列右から

望月学長補佐、
 須藤愛里沙、
 黒川紗里奈、
 今野茉莉奈、
 竹下樹菜、
 菊地フェリペ、
 高藤学部長

■学校法人東京家政学院奨学金
 成績が優秀で、人物ともに優れている学生に授与されます。

経営情報学科 4年 今野 茉莉奈
 経営情報学科 3年 竹下 樹菜

ビジネスデザイン学科 2年 菊地 フェリペ

■学校法人東京家政学院創立90周年記念光塩会奨学金

学業、人物ともに優れ、かつ大学への貢献度が高い学生に授与されます。

経営情報学科 4年 須藤 愛里沙

■光塩会奨学金

成績が優秀で、人物ともに優れている学生に授与されます。

ビジネスデザイン学科 2年 黒川 紗里奈
 表彰された皆さん、おめでとうございます。

「発掘！ディープいば旅コンテスト」で優秀賞

昨年10月31日に茨城県水戸市で開かれた「第1回発掘！ディープいば旅コンテスト」において、本学の「チームKVVA」が優秀賞を受賞しました。同コンテストは茨城県商工労働観光部が主催し、

県内で今まで活用されなかった地域資源を、新しい、魅力あるディープな観光資源として活かすアイデアを高校生、大学生から募集しました。



表彰を受けるリーダーの磯原明日美さん(中央)

「チームKVVA」は、「魅力度最下位の茨城で日本一を体験ー県西・県南の観光ルートを作ってみよう」を発表しました。民間調査で全国都道府県の中で魅力度最下位という茨城県内にある日本一や日本最古となる観光資源を紹介しました。本学がある県南地区と県西地区は観光地化されていないため、「ディープな旅」というテーマに合致しているという時事性とユニークさが評価されました。

学生リーダーから指導教員が相談を受けた時点では、締め切り1ヵ月を切っていましたが、当初予定されていたテーマを、話題性に富む今回のテーマに切り替えて、指導教員がポイント取りや現地取材を全面的にサポートした結果、何とか発表にこぎ着けることができました。茨城大学や中央大学などのチームに伍して、優秀賞として最初に名前を呼ばれて喜びもひとしおでした。

チーム猫の手、動画コンテストでグランプリ

結婚・子育てに関するメッセージを30秒の動画で発信する「いばらき結婚・子育てポジティブ動画コンテスト」(茨城県主催)の表彰式が2017年11月19日イオンモールつくば内で催され、筑波



授与式 (左から小沼監督、大久保、益子、関根、石高)

学院大学の「チーム猫の手」が制作した動画「赤ちゃんの魔法」が結婚部門でグランプリに選ばれました。

メンバーは、経営情報学科3年の大久保駿さん、益子雄太郎さん、ビジネスデザイン学科2年の関根彩さん、石高紅葉さんの4人で、チョイ悪の青年が赤ちゃんの笑顔を見て改心し、結婚に至るという動画を制作しました。

監督をした大久保さんは「赤ちゃんの笑顔はかわいいという当たり前のことを、見る人に対して欲しいと思いつく制作しました」と話し、審査員の映画監督、小沼雄一さんは「何より赤ちゃんの表情が素晴らしい。作り手がどれだけ対象に興味を持ち感動しているかが感じられる」と評しました。

作品は今後、県のホームページやイベントなどで活用されます。

プログラミング世界大会アジア地区予選

「ACM国際大学対抗プログラミングコンテスト」は40年を超える歴史を持ち、毎年開催される世界的にも由緒ある大学生を対象とした大規模なプログラミングコンテストです。

コンテストは、3段階で実施されます。最初はインターネットを利用した国内予選です。今年も93大学から391チームが参加しました。世界全体では、昨年は103の国地域から2,948大学、15,460チームが参加しています。第2段階が、今回のアジア地区つくば大会となります。国内より38大学43チーム、海外より7大学7チームの計50チームの参加で2017年12月16日から18日の3日間に渡り実施されました。最後に世界最終大会がおこなわれます。今回は2018年4月15日から20日にかけて、中国の北京大学で開催されます。

2017年は、筑波学院大学が第1段階、第2段階のホスト校を務めました。約1年前から実行委員会を組織し、準備を進めてきました。



競技会場の様子



真剣に問題を解く選手たち

アジア地区つくば大会は、12月16日にJAXA(宇宙航空研究開発機構)筑波宇宙センターの見学会か

らスタートし、つくば市のつくばカピオにて開会式、練習ラウンドを実施、夕方は筑波学院大学のフレインチレストラン「カフェ・ド・グルマン」にて歓迎会をおこないました。17日はつくばカピオにて5時間に渡る本選、問題解説、表彰式、懇親会を実施しました。18日は希望者による企業見学会を実施しました。

本学からは、実行委員スタッフ(教員)10名、学生スタッフ30名が運営に関わり、大会の成功に大きく貢献しました。大会は、「国際大学対抗」と銘打っていることから、英語が公用語ですが、学生たちの事前準備の甲斐もあり、無事に務めることができました。

今年は、残念ながら、本学学生はコンテストに参加できませんでしたが、スタッフとして参加した学生の中には大きな刺激を受けた者もいて、今後のコンテストへの参加が実現しそうな勢いです。情報系教員も一丸となり、このような学生を積極的にサポートしていこうと、決意を新たにしました。

中華大学短期研修

12月5日から7日間の日程で、協定校である台湾の中華大学へ本学学生15名を短期研修に派遣しました。台湾を初めて訪れる学生が多い中、現地の生活習慣や文化の違いに戸惑いながらも、同世代の中華大学生と仲良くなるには長い時間は必要ありませんでした。研修プログラムでは、本学の学生が日本の様々な特色について観光地や食文化などを通して紹介し質問に答える授業や、中華大学の授業に参加して日本語の学習を始めたばかり

の1年生や上級生とも交流しました。休日には淡水など有名な観光地を訪れ、夜市では美味しいものを食べ楽しい時間はあっという間に過ぎたようです。無事に帰国したあとで、事前に行ったオリエンテーションでの準備や中国語での自己紹介の練習などが役立ったこと、また出発前に準備や調べておいた方がよかったことなど、参加した学生個々に感じたことや思ったことも違い、異文化を体験する良い機会になりました。



淡水にて

起業を目指す食のプロジェクト発信

2018年2月22日(木)より3月10日(土)まで、筑波学院大学附属図書館に「おいしいミュージアム」が開設されました。図書館カフェを構想し、起業にしたのは、「おいしい」をテーマにビジネスを創出する起業講座を受講した経営情報学部ビジネスデザイン学科の塚原正彦ゼミの学生たちです。講座は、茨城県の地方創生推進交付金(プ

ロジェクト名「いばらき創業10,000社プロジェクト事業」の選定を受け開講されました。

学生たちの多くは、地域デザイン学芸員をめざして、この学びを通して知ることのできた地域の産品の中から、「紅天使」(さつまいも)「やよいひめ」(いちご)「根本さんのレンコン」「イタリアビオワイン」と「薄づくり器」(笠間焼)などおいしいモノづくりに情熱を捧げている起業家たちの逸品を集めました。

それらのおいしいものやコトをリアリティ있게カフエメニューを開発しました。さらに、おいしいモノを糸口にもっと深くおいしにふれることができるよう200冊の本を選書し、しる・たべる・つながる空間をデザインしました。

期間中「おいしい本」を読みながら、ここでしか食べられない「おいしいモノ」をいただくことができるミュージアムには、たくさんの方が訪れ、ミュージアム体験を楽しみ、学んでもらうことができ、ミュージアムがビジネスとして展開できる可能性を実証することに成功しました。



本とおいしいモノをリンクして快適な学びができます

八千代町商工会と連携協定

筑波学院大学は、茨城県八千代町の商工会との連携・協力に関する協定を平成29年9月15日に締

結しました。

この協定は、本学の学生が、OCP(Off Campus Program)による教育と、八千代町が目指す人材育成と地域づくり



八千代町商工会秋葉一会長と大島学長

の方向性が一致したことによるものです。本学のOCPは、学外活動で経験値を高め、社会につながる実践力、社会を支える力、社会に貢献する意欲を育成する実践プログラムであり、八千代町との連携・協力により農業、工業、商業等幅広い産業分野に活動を広げ、学生の視点で八千代町の発展に寄与することが期待できます。留学生にとっても八千代町との交流で学んだことを母国に持ち帰り、様々な分野で活かすことで、真の国際化への貢献も期待できます。

平成29年12月1日には、八千代町の地域性、歴史、文化、産業、名所、特徴のある施設などを紹介していただくバスツアー(参加学生19名、引率教員3名)にお招き頂き、この時にお聞きした事や調べたことを元に、その後2か月半の間、学生たちがアイデアを出し合って町の活性化に向けた検討を重ねました。平成30年2月22日には、その成果発表を行い、成果発表の後には八千代町商工会の皆さんと積極的な意見交換が行われ、今後の本格的な町の活性化に繋がる交流会となりました。

◆平成31年度 筑波学院大学 入試日程

■AO入試【セミナー型】

区分	セミナー開催日	出願資格認定通知日	出願期間（消印有効）	本面談日	合格発表日
1期	8月25日（土）	8月27日（月）	8月31日（金）～9月14日（金）	本面談はありません	9月21日（金）

■AO入試【自己推薦型/予備面談型/作品型】

区分	出願期間（消印有効）	本面談日	合格発表日
2期	8月1日（水）～8月20日（月）	8月25日（土）	8月27日（月）
3期	8月27日（月）～9月10日（月）	9月17日（月・祝）	9月21日（金）
4期	10月22日（月）～11月5日（月）	11月11日（日）	11月13日（火）
5期	1月28日（月）～2月12日（火）	2月19日（火）	2月20日（水）
6期	2月25日（月）～3月11日（月）	3月18日（月）	3月19日（火）

■推薦入試

区分	出願期間（消印有効）	試験日	合格発表日
A日程	10月15日（月）～10月26日（金）	11月3日（土・祝）	11月5日（月）
B日程	11月26日（月）～12月12日（水）	12月16日（日）	12月18日（火）

■一般入試

区分	出願期間（消印有効）	試験日	合格発表日
A日程	1月11日（金）～1月28日（月）	2月10日（日）	2月12日（火）
B日程	2月12日（火）～2月25日（月）	3月4日（月）	3月5日（火）

■センター試験利用入試【大学入試センター試験日：1月19日（土）・20日（日）】

区分	出願期間（消印有効）	試験日	合格発表日
A日程	1月15日（火）～2月1日（金）	本学独自の 学力審査は ありません	2月13日（水）
B日程	2月12日（火）～2月25日（月）		3月5日（火）
C日程	2月25日（月）～3月8日（金）		3月19日（火）

■私費外国人留学生入試

区分	出願期間（消印有効）	試験日	合格発表日
A日程	9月18日（火）～10月5日（金）	10月14日（日）	10月16日（火）
B日程	1月15日（火）～1月29日（火）	2月12日（火）	2月13日（水）
C日程	2月13日（火）～3月1日（金）	3月15日（金）	3月19日（火）

■社会人入試

出願期間（消印有効）	試験日	合格発表日
1月28日（月）～2月12日（火）	2月19日（火）	2月20日（水）

オープンキャンパス

5月13日（日）	
6月24日（日）	
7月22日（日）	
8月5日（日）	
8月26日（日）	
10月27日（土） 28日（日）	KVA 祭同時開催
3月24日（日）	

入試相談会

5月26日（土）	6月9日（土）	7月28日（土）
9月8日（土）	10月14日（日）	11月17日（土）
12月8日（土）	1月26日（土）	2月23日（土）

授業公開期間

7月23日（月）	7月24日（火）	7月25日（水）
----------	----------	----------

（お問い合わせ先）筑波学院大学
〒305-0031 茨城県つくば市吾妻3-1 入試広報グループ
TEL. 029-858-4815 FAX. 029-858-7388
URL <http://www.tsukuba-g.ac.jp> E-mail nyushi@tsukuba-g.ac.jp



東京家政学院高等学校・中学校

TOKYO KASEIGAKUIN JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

〒102-8341

東京都千代田区三番町22番地

TEL.03-3262-2255 (中学)

TEL.03-3262-2256 (高校)

URL <http://www.kasei-gakuin.ed.jp/>

新入生の皆さんへ



校長 長尾 宏

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
これから中学生は6年間、高校生は3年間、この
家政学院で過ごすこととなります。合格通知を受

け取ったその日から、皆さんはこれから始まる学
校生活に多くの期待をされたことと思います。新
しい友達との出会いはきっと皆さんを更なる成長
へと導いてくれることでしょう。

本院院の教育目標は、皆さん全員が希望する進
学先に進むことのできる能力を身につけること
です。そのために本校では次の3つの柱に沿って指
導を展開しています。まずは学力ですね。本校で
は基礎学力をしっかりと身につけることに時間を
費やしています。そして、それをもとに論理的思
考に裏付けされた、つまり知識を実生活で活用す
ることのできる「真の学力」を身につけていきま
す。そのために本校独自の学習プログラム（アク
ティブラーニング）に沿って、習熟度別授業、補習、
講習と徹底した少人数での指導を展開しています。
次に、自分の個性あるいは特性を最大限に活かせる
進路選択ができる能力を「進路指導」によって
身につけます。本校の進路指導の特徴は「自分を
知る」ことから始まります。ですから結果として
後悔しない、自分自身が納得のできる進路に巣立っ
てゆけるのです。最後は、社会性を育む指導です。
本校の誇る「ライフキャリア教育」によって、社
会人として必要なコミュニケーション力、ディベ
ロップメント力、プレゼン力を育てます。

在学中にこうした能力を身につけることによ
って、生きる力（学力・人間力）が身につくこと
に、自身の成長が生み出す自尊の心（自分を好きでい
られる、大切に思える、誇りに思える心）が育ま
れることで社会に貢献できる自立した女性へと成
長できるのです。学校生活全般を通して、皆さん
の中にまだ眠ったままの、沢山の「潜在能力」
を私たちと一緒に伸ばしていきたいと思います。

卒業式

3月3日（土）本校ローズホールにおいて、高
等学校の卒業式が、厳かに行われました。沖吉理
事長、矢子PTA会長をはじめ、多数の来賓や保
護者の方々を迎え、卒



卒業証書授与の様子

業生の門出を祝福しま
した。皆勤賞22名の代
表として鈴木萌々子さ
んが、また大江賞は生
徒会活動で活躍した宮
野葵さんが受賞しまし
た。送辞は在校生を
代表して北川ひより
さんが読み、答辞は
卒業生を代表して高
橋ひよりさんが読み
上げました。

合唱祭報告

合唱祭実行委員長 嶋村朋美



高校大江賞は「結」を歌ったH2Cでした。

ごきげんよう。1月25日練馬文化センターで、
合唱祭が行われました。
長い間練習を重ねて、
本番ではどのクラスも
練習の成果を発揮し、
素晴らしい合唱を発表
しました。中1は元気



Knowledge
Virtue
Art

知識を高める
徳性を養う
技術を磨く

学校法人 東京家政学院

学校法人東京家政学院
〒102-8341
東京都千代田区三番町22番地
(代表電話番号)03-3262-2251

URL <http://www.kasei-gakuin.ac.jp/houjin/>

新年度を迎えて
社会を変え、未来を拓く学院に



学校法人東京家政学院
理事長 沖吉 和祐

若芽が吹きバラのつぼみが膨らむなか、希望に満ちた皆様に学院をお迎えし、5年後の創立100周年に向けて飛躍を期すべき新年度を迎えました。

東京家政学院大学は、「食」を柱にしつつ、グローバル化が進む新時代に相応しい2学部5学科になりました。中学・高校・大学の10年を見据えながら、社会で活躍するスマートでエレガントな女性の育成を目指します。筑波学院大学は、地域と共に歩む大学として自立する大切な年になります。

オリンピック・パラリンピックの平昌冬季大会では、多くの夢と感動、勇気をいただきました。2年後には、東京大会が開かれます。世界各地から訪れる皆様に、本学院らしい温かな心と技・知でお迎えし、親しい交流をサポートしましょう。学生・生徒の皆様も、何らかの形で積極的に参加してください。

本学院は、創設以来、大江精神を身に着けるため地域のつながりを大切にしてきました。皆様は、キャンパスの中で学習やサークル活動をするとともに、地域に出て多くの人々と交流し、多彩な体験を重ねてください。さらに、地域の方々にキャンパスに招き、共に学習する場として参ります。

新入生、在学生の皆様は、人生で最も輝き、変化する時期です。キャンパスの内外で、互いに学び合い、競い合い、励まし合いながら、未来を拓く素敵な体験を重ねてください。同窓生、教職員が一体となって皆様に応援し、また、地域と共に在るグローバルな学院として発展して参りたいと思っております。



「東京家政学院創立100周年記念募金」を お願いいたします

お寄せいただきましたご芳志は、各キャンパスの教育環境の整備など学院の発展のため活用させていただきます。
学校法人東京家政学院の取組をご理解いただき、募金活動にご賛同賜りますようお願い申し上げます。

お問合せ先

学校法人東京家政学院 募金事務局
〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地
電話:03-3262-2242 FAX:03-3262-2174
E-mail bokin@kaei-gakuin.ac.jp

新入生の皆さまへ



光塩会
会長 永山 スミ

御入学、おめでとうございます。

光塩会は、学院で学ばれた方々の同窓会でございます。創立者が、聖書の一節「あなた方は地の塩である。あなた方は世の光である。」から命名されました。

会員一同、皆さまの御入会を歓迎し、新しい学生生活の始まりに、心から声援を送りたいと存じます。

学院には、多くの宝物が埋蔵されております。「良師、良い友、よい居場所」今、あなたは大切な宝物に囲まれ、ライフ・ステージの素晴らしい時期におられます。

4年間の真摯な学びの日々には、あなたにふさわしい宝石を発見する喜びがあることを期待いたします。キャンパスに漂う清浄な空気を沢山吸って、生涯の指針となる「光と塩」の精神が育まれていくことを会員一同願っております。

光塩会の諸活動に是非御参加いただき、友情の輪を広げて参りましょう。お待ちしております。

光塩会活動インフォメーション

- ・総会・懇親会の開催
- ・「光塩」「光塩会だより」の発行
- ・奨学金授与
- ・「KVA祭」「ローズ祭」の協賛
- ・全国46支部、各支部の諸活動
- ・鑑賞会（歌舞伎）、講習会（白糸刺繍）
- ・同好会

大江文庫を翻刻する会、遺著を読む会、

新入生の皆様へ



あづま会
会長 澤田 三和子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

「あづま会」は、東京家政学院高等学校の同窓会です。秋の常磐祭の時には、皆様とお目にかかれたい。

昨年の体育祭では、ドローンが登場しました。

文化祭では、あづま会のお部屋を作り、卒業生で、プロや、セミプロの方々作品を展示して好評を得ました。

今年もお部屋を作り、お茶を用意して皆様をお待ちしています。

平成31年は、東京家政学院中学・高等学校の創立80周年を迎えます。私ども、あづま会も皆様と一緒に祝いしたいと考えております。

主な活動の紹介

- ・総会・懇親会の開催
- ・「あづまだより」の発行
- ・ホームページの配信
- ・奨学金給付
- ・常磐祭の参加
- ・成人を祝う会の後援
- ・校章ストラップ、タオルハンカチ、あづりヌのコンパクトミラーの販売

やさしい英会話、ニットサークル、

中城ふみ子の短歌を学ぶ会、

リラ・フラウエンコール（コーラス）、

星の王子さまを語り合う会、

白糸刺繍、ピースアクセスサリ

東京家政学院

創立100周年記念募金 寄付者御芳名

東京家政学院創立100周年記念募金へのご協力に、厚く御礼申し上げます。ご寄付いただきました皆様への感謝の意を込めまして、ここに御芳名をあげさせていただきます。[平成29年8月～平成29年12月分]

石川直子	石田千恵子	大島慎子	沖吉和祐
加藤清香	河田敦子	木目田文子	黒木富士恵
込山弥彦	齊藤節子	佐原成夫	澤田三和子
篠原隆子	清水光	鈴木茂	関口綾子
関根慶子	関原暁子	田中清章	田中美智子
棚橋幹枝	田宮知子	田村武	寺田ケイ子
鳥羽豊隆	中澤孝江	永島初江	永山スミ
野口豊隆	林弘子	原澤久子	深石照代
府中ひとみ	又吉桃子	原三久	森洋子
八木昭代	湯浅絢	渡辺	

ほか匿名希望の寄付者9名

(敬称略・五十音順)

第3回 短大・学部
ホームカミングディのお知らせ

今年もローズ祭に合わせ開催いたします。どうぞ皆様お誘い合わせてお越しく下さいませ。

日時：平成30年6月17日（日）
11:00～15:30（ローズ祭開催日）

場所：千代田三番町キャンパス
（1号館5階1508教室）

連絡先：光塩会会員部（担当 富永・西村）
[光塩会事務局 03-3265-3646]

「学びをビジネスへ」 東京家政学院大学 現代家政学部

現代家政学科卒業(H26) 岩村もと子

私は2014年3月に現代家政学科を卒業し鎌倉市鎌倉山にある実家の蕎麦と会席料理の店「榎亭」を手伝い始めました。鎌倉は人口17万人で年間観光客数は2100万人ですが「榎亭」の年間来店者数は1万2千人程でした。もっと観光客にも地元の方にも来て頂くにはどうしたら良いのだろうと考え、「宣伝」「メニューの開発」「営業」の3つに力を入れることにしました。

この中でメニュー開発は、家政学院で学んだ知識の結晶なので開発した商品2つ・「蕎麦屋のまかないチーズケーキ」「穂先たけのこ蕎麦」についてご紹介致します。

2つ共開発コンセプトは【「榎亭」にしかないもの】で、開発方法は、アイデアを出し↓類似するものがないかを調べ↓試作・試食を繰り返すというものでした。「蕎麦屋のまかないチーズケーキ」はグルテンフリーで小麦粉の代わりにそば粉を使用したチーズケーキで上に炒った蕎麦の実を散りばめています。テレビで紹介され、ティータイムの救世主になりました。「穂先たけのこ蕎麦」は「榎亭」庭園の見所の一つである竹林の育ち切った筍を利用した

商品です。これは卒業研究時に読んだ文献の中に「生え始めて3〜4mに伸びた竹の上部40cm程はまだ筍で食べられる」と書かれていたことを思い出して応用しました。

こうして開発した商品は宣伝する前に他に真似されない様に「蕎麦屋のまかないチーズケーキ」は意匠登録、「穂先たけのこ蕎麦」は商標登録と権利の登録を行いました。これは「情報リテラシー」の授業で学んだことです。

私にとって大学4年間の授業で得た知識は全て宝物です。この場をお借りして先生方と家政学院へ心から御礼を申し上げます。



東京新聞2017年5月16日付朝刊「穂先タケノコそば」人気掲載されました(画像の中の女性スタッフが岩村もと子さんです)

研究室紹介56

東京家政学院大学 人間栄養学部

人間栄養学科 地域栄養教育研究室 酒井 治子

「地域で暮らす人々の「食・栄養」に問いかけ、そこから学ぶ」

地域で暮らす人々の「栄養・食」のあり方は多種多様。「食の営み」は人と人との繋がりと、食物の生産から消費までの、フードシステムの双方から成り立っており、健康を維持することにも、文化・伝統が変容・継承されていきます。

地域栄養教育研究室では、地域でのさまざまな食・栄養活動の実践介入を行いながら、地域で暮らす人々の「栄養・食」の構造や、その人にとってより豊かに生きるための栄養教育(食育)の計画・実施・評価の具体的な展開についての実践研究を進めてきています。

平成29年度は、キッチンメーカーの「クリナップ株式会社」との共同研究(写真①)で子どもたちの食育(調理体験を含む)活動とそための教材開発に関する研究や、JC総研との共同研究でファーマーズマーケット(農産物直売所)をキーステーションに、フードシステムに注目した栄養教育の実践と評価に関する研究にも取り組んできました。また、日本の伝統的な食文化である「和食文化」が平成25年ユネスコ無形文化遺産に登録されたことを受け、農林水産省の子育て世代への和食

文化普及事業として、管理栄養士・栄養士の研修や、食生活の改善意識が高まりやすい子育て世代をターゲットとして、「和食で子育て応援サイト」「おうちで和食」からの情報提供(サイト②)や、伊勢丹新宿店でワークショップ「和食育のすすめ」和食文化の知恵は、くむ、心とからだ」にも、大学院生や学部の学生と一緒に、取り組みました。

平成30年度は、保育所・子ども園等での食育・食事に関して、東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センターとの共同研究がはじまります。とても楽しみに挑戦したいと思えます。

学生の豊かなアイデアとねばり強さが頼りです。皆さん、研究室をのぞいてみてください。



写真① クリナップ株式会社 「わくわくキッチン!たべものへんしんきょうしつ」 https://cleanup.jp/oikura/event/waku_report.shtml

おうちで和食
和食で子育て応援サイト
農林水産省 特設サイト
<http://ouchidewashoku.com/> (サイト②)